

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 4 年 6 月 23 日現在

機関番号：34414

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2017～2020

課題番号：17H02342

研究課題名(和文)新義真言系聖教の形成と教学的交流に関する基礎的研究

研究課題名(英文)The Fundamental Study of Formation and Doctrinal Exchange in Shingi Shingon Sects

研究代表者

宇都宮 啓吾(Keigo, Utsunomiya)

大阪大谷大学・文学部・教授

研究者番号：40257902

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 13,600,000円

研究成果の概要(和文):真言宗智山派総本山智積院の新文庫に所蔵される約3500点の聖教のうち、み函の200点を除く全ての書誌データの採取と目録化が完了した。また、関連する戒律系聖教群並びに関連聖教の調査を行うことによって、13世紀後半期における教学的交流の実態を解明するに至った。これらのことから、鎌倉期におけるワコト点展開史の実態、並びに延慶本平家物語や太平記の成立圏の問題まで分析・解明するに至った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

日本思想の源流である日本仏教の思想的大系の成果である聖教に注目が集まっている。そのような中、今回の研究によって、豊臣秀吉の侵攻によって消滅したものと認識されて来た根来寺の聖教を含む智積院の全体像を解明し、今後の公開や研究の道筋をつけた。そのことから、鎌倉時代13世紀後半における当時の人的交流や教学(仏教)的交流を明らかにし、更には、軍記物語の代表ともされる平家物語の伝本である延慶本平家物語や太平記の作者や成立に関する分析まで可能となった。

研究成果の概要(英文):We have completed the collection and cataloging of bibliographic data on approximately 3,300 sacred texts in the new library of Chishakuin, the head temple of the Chizan school of the Shingon sect of Buddhism. In addition, a survey of related precept-based soterialies and related soterialies was also conducted. As a result, the following findings were made. The actual state of doctrinal exchange in the latter half of the 13th century./The history of the development of wokoto points in the Kamakura period (1185-1333)/The actual situation of the history of the development of wokoto points in the Kamakura period.

研究分野：日本語学

キーワード：聖教 訓点資料 ワコト点展開史 教学的交流 戒律 智積院 デジタルアーカイブ

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

申請者による智積院聖教調査を中心とした従来の科研では、戦火によって焼滅したものと認識されて来た根来寺聖教や、従来認識の真言宗系聖教とは別系統にあたる新義真言宗系聖教としての貴重な新出聖教群を真言宗智山派総本山智積院新文庫に発見してきた。その成果は、各科研報告の「研究業績」の通りであるが、それに留まらず、以下の如く、近時に限っても諸領域から招聘発表や学会賞受賞等の評価を得ることが叶った。1)日本密教学会密教学芸賞(苜米地誠一)2)FIT 船井ベストパワード賞(村川猛彦・宇都宮啓吾他「訓点資料を対象とした翻刻支援システムの構築および評価」)3)三島海雲記念財団学術研究奨励金(分担者:大谷由香「宋代戒律思想における日宋交流からの影響に関する研究」)4)智山勸学会奨励賞(協力者:駒井信勝)5)智積院聖教について智山派推薦での日本密教学会発表(宇都宮)6)第49回造本装幀コンクール日本書籍出版協会理事長賞(協力者:赤尾栄慶「国宝 鳥獣戯画と高山寺」展公式図録」担当)等 調査による諸領域からの受賞や招聘等は、智積院聖教が「未公開・新発見・新知見」の新義真言宗系聖教・根来寺関連聖教として注目・評価され、申請者の従来科研が他領域に貢献した成果と言える。その結果、智積院御当局では、空海生誕1250年記念事業として、2024年には科研調査に基づく聖教目録の刊行と収蔵庫の建設が決定され、それに対応した学芸員の配置が行なわれると共に資料調査や公開に関わる指針も策定された。まさに、申請者代表の従来科研が国語学研究としての成果を着実に積み上げ、社会的還元へと昇華する機会を得たと言える。そして、御当局より、今後の調査に関する全面的協力と成果公開のご許可をいただいた。上記の如く、諸領域に注目される智積院聖教の公開が断片的・散発的な状況ではなく、本科研によるコア・ネタとして国語学、また、関連領域を核として進められると共に、それに基づく利用促進への道筋ができて来た。特に、従来科研が空海生誕1250年記念事業に影響を与えることによって、今後の末寺や諸寺院の調査にも大きな道筋を拓くこととなった。そのため、所謂「学術調査」としての側面のみならず、智積院聖教に関する関連諸領域との連携によるシンポジウムの開催や成果公開、更にそれを踏まえた聖教の利用促進を御当局に提言しつつ、その関連寺院の「お蔵を開く」という、智積院新文庫聖教の悉皆調査と成果公開を行うための準備が整った。

また、智積院聖教が戒律系聖教との色濃い関連性を有していることが明らかになったことから、天台系戒家の聖教として、黒谷流の分流である法勝寺流・元応寺流の聖教群の調査が必要となったため、その拠点寺院である西教寺(天台真盛宗総本山)と聖衆来迎寺の両寺の聖教調査についても大阪市歴史博物館の特別展開催との連携によって、推進することが叶うこととなった。

合わせて、これらの聖教群の調査データに関しても、従来より分担者村川(和歌山大学システム工学部)や企業との連携も行うことができることとなった。

2. 研究の目的

以下の如く、4つの視点が存する。

(1)まず、未公開聖教群の調査を行なう。智積院聖教は、戦火によって消滅したと認識されて来た根来寺・家原寺聖教を大量に含み、また、従来研究されてきた真言系聖教とは異なる新義真言宗系統・戒律系統の聖教であり、その成立の際に地方聖教を大量に含んでいる点で、未開拓分野の聖教群であり、それに基づく国語学的研究や言語環境の解明の可能性、資料提供の点で重要な意義がある。このような聖教群の解明の手段として、本申請四年間において、前科研までで完了の「数字函」(1函~61函)を除く「いろは函」全35函の詳細目録作成、SR函全41函の予備調査を行う。現段階でも、根来寺聖教や関連地方聖教を確認し、また、中世仏教史上に注目されながらも「謎」であった戒律関係の家原寺聖教の発見が諸分野からの注目を集めており、更には重要文化財の『管見抄』鎌倉後期点の僚巻を始めとした漢籍訓点資料の発見と日本印刷史上における堺版(正平版)『論語』の位置付けの解明、頼瑜写『秘蔵宝鑰鈔』(文章博士藤原敦光著作)鎌倉後期点の発見、古辞書類等の発見や幻の書と『岩波仏教辞典』で記述される新羅元暁撰『二障義』の発見による韓国学界へのイパ外など、従来科研の国語学的解明による隣接領域への波及効果の大きいことに基づき、それを契機とした諸領域との交流による情報収集や、智積院関連寺院の調査から、更に大きな新義真言宗系聖教の国語学的解明を目指す。加えて、代表者が醍醐寺・仁和寺調査(文化庁)・天野山金剛寺調査(科研)・紀州文化研究(国文学研究資料館)等に参加し、京都国立博物館客員研究員であることから、諸宗派の聖教調査と聖教の伝播や教義的交流の実態の横断的な分析ができ、この視点からも研究を推進する。この点は、従来の各宗派毎に把握されていた聖教分析に新たな視点を加えるもので、前掲の如くに受賞・招聘を受ける成果を挙げたことに基づいて、言語資料に基づく新知見や新発見へと繋げて行く。これらの総合的な分析から、多面的把握による新たな研究を開拓する。また、科研調査済の聖教が一般公開へと向かう布石とする。

(2)次に、データ公開とIT・IT環境の整備を目指す。従来科研の情報知識学会2004年度論文賞(「平安・鎌倉時代を対象とした僧侶データ・ス」)の受賞以来、聖教のデータ化と公開については申請者グループがこの分野で先駆的位置にあり、申請者による聖教データ・スは国会図書館のデータ・スナビゲーションシステムにも登録され、聖教データ・スとして認められる唯一であり、成果を社会に還元し

ている。その内から聖教のデータ公開・知見の公開を行ない、又、聖教調査におけるIT 環境整備の方策として、血脈資料のデータ入力化等を図る。この作成は、既に、凸版印刷との連携を開始している。その意味で、本研究の成果は広く、訓点資料における師資相承の分析等、言語環境の解明として、今後の研究に寄与する。

(3)聖教調査における古写本のデジタルアーカイブ化（産学協同）にも着手する。現在、凸版印刷との共同研究によって、立体物の正確なスキャンによるデジタルアーカイブ化の技術開発（リソキナー）によって木簡や角筆文献等の撮影を進める。

(4)以上を踏まえて、研究成果の公開として、シンポジウムの開催や論考等の公開を行う。

3. 研究の方法

本年度には智積院内（智山書庫）において整理・所在確認と詳細な書誌データの収集を目的とした調査の作成を行ない、合わせて重点聖教の洗い出しを行なう。この調査は、智積院御当局との連携のもとに合同調査も視野に入れて行なう。調査に際しては、年間合計9日（3日×3回）程度の大規模調査と6日（3日×2回）程度の小規模調査・検討会とを実施し、書名・法量・装幀・外題・首題・尾題・版式・行数・訓点・奥書・刊記などの書誌的調査と内容に関する調査を実施し、それぞれを調査に記入することとした。調査対象の聖教は、必要に応じてデジタルでの撮影を行ない、パソコンに入力し、データベース化を図る。調査以外に進捗状況の確認や相互の意見交換を行ない、科研最終年度としてスムーズな調査の進行を図るために3～5回程度の研究打ち合わせ会を持つこととした。

その他、智積院における聖教調査に合わせて、関連する聖教群の調査も参考として行なった。調査作成、デジタル撮影、データ化については、申請者並びに分担者村川らで行ない、そのために、デジタル機器による特殊撮影も行なっていく。その際、凸版印刷情報コミュニケーション事業本部・富士 Xerox 技術開発部の協力による最新技術も導入する。その際の文化財の保守については、文化財修復の関連業者との意見交換等も行なう。また、聖教調査に並行してデータ班による聖教のデジタルアーカイブ化、公開に向けた聖教デジタルアーカイブの構築・血脈データベース構築の為、分担者村川及び和歌山大学システム工学部大学院生を中心としたグループによって、データ入力やシステム開発を進める。また、上記凸版印刷との連携に基づき、古写本のデジタルアーカイブ化においては、研究や文化財体験に資するシステムの確立とその成果の公開の検証を行なう。

そして、本科研を広く世に問うことを目的に、上記の研究推進並びに従来科研の成果を踏まえ、その成果として本科研で従来より主催・共催となっている日本宗教学文献調査学研究会での発表、並びに、前科研に引き続いた智積院聖教目録を作成する。

4. 研究成果

上記の方法に基づき、智積院新文庫聖教や関連する聖教等の調査・研究を進め、研究成果の公開については、論文・学会発表・図書の一覧の如く、幅広く成果を公開し、それぞれに評価を受けている。また、聖教調査自体については、以下の通り。智積院新文庫聖教については現在最も点数の多い「み」箱を2/3程度調査を取り終えた。但し、新型コロナ流行によって、智積院における調査が困難となったため、調査自体は中途である。但し、調査のデータ入力は調査済のものは全て入力済みで、点検作業を行った。また、コロナ禍による中断と資料館建設に伴う調査中断に関しては、その解消後に調査の継続されることを確認している。調査中途の代替として、関連する四天王寺聖教の調査とその概要公開を果たし、四天王寺宝物館との共催によって、新たな訓点資料等を発見し、一般公開も果たした（宇都宮啓吾（監修・著）『四天王寺聖教の世界』（四天王寺宝物館令和3年秋季特別展図録、四天王寺勸学部、18、2021）。また、合わせて三井寺法明院・聖衆来迎寺・西教寺における戒律系聖教の調査を行ない、中世における戒律を軸とした聖教の形成やそれに伴う諸宗交流の実態を解明した（宇都宮啓吾、泉涌寺・良含と澄豪・恵鎮の流の周辺—中世聖教における諸宗交流の結節と伸展—、「応永永享期文化論」研究集会（国際日本文化研究センター）2021、招待／宇都宮啓吾、智積院新文庫蔵『醍醐祖師問書』の記事について—付・翻字本文—、大阪大谷国文51、88-108、2020）。これらによって、延慶本平家物語の成立圏と太平記の成立圏の交流やそれに伴う言語の問題や悉曇学等の学術的交流の問題についても明らかにし、また、真言宗小野流所用とされる東大寺点の14世紀後半における比叡山延暦寺における伝播の問題等、従来明らかにし得なかった中世ヲコト点展開史の問題をも明らかにし得た。そういった点で、当初目的の諸宗交流を巡る解明については果たされたものと考えられる。

また、聖教調査に並行してデータ班による聖教のデジタルアーカイブ化等も進め、その一つとして、凸版印刷・富士ゼロックスとの連携に基づき、古写本のデジタルアーカイブ化の研究を進めた。そして、これらの成果を論考、シンポジウム等で公開した（宇都宮啓吾、聖教とデジタルアーカイブス・村川猛彦、系図を対象としたデータベースシステムの構築 第1回日本宗教学文献調査学合同研究会、2017／永井謙也、村川猛彦、大澤留次郎、宇都宮啓吾、系図からのデータ自動取得の試み、人文科学とコンピュータシンポジウム、2017）。

以上、本科研の目的・方法に対する成果は十分に果たし得たものと思われる。但し、新型コロナ流行による智積院新文庫聖教調査の未完了部分については、改めてネット上での公開等を進めていきたい。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計85件（うち査読付論文 39件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 宇都宮啓吾	4. 巻 140
2. 論文標題 叡山点の成立について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 訓点語と訓点資料	6. 最初と最後の頁 38-49
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇都宮啓吾	4. 巻 211
2. 論文標題 延慶本『平家物語』周辺の書承ネットワーク - 智積院聖教を手懸かりとして	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『根来寺と延慶本『平家物語』』（アジア遊学）	6. 最初と最後の頁 49-68
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 苔米地誠一	4. 巻 8
2. 論文標題 西行・隆聖父子と大伝法院	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 西行学	6. 最初と最後の頁 4-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 苔米地誠一	4. 巻 211
2. 論文標題 高野山大伝法院と根来寺	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『根来寺と延慶本『平家物語』』（アジア遊学）	6. 最初と最後の頁 96-114
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 羽田聡	4. 巻 84
2. 論文標題 京都国立博物館所蔵 伏見天皇宸翰消息	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 古文書研究	6. 最初と最後の頁 149-151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村川猛彦	4. 巻 Vol.2018-CH-117, No.7
2. 論文標題 系図処理プログラムの開発および公開	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 情報処理学会研究報告 人文科学とコンピュータ(CH)	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村川猛彦	4. 巻 27(2)
2. 論文標題 全文検索サービス自動生成の試み	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 情報知識学会誌	6. 最初と最後の頁 219-224
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中勝, 村川猛彦, 宇都宮啓吾	4. 巻 Vol.59, No.2
2. 論文標題 訓点資料を対象とした翻刻支援システムの構築	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 情報処理学会論文誌	6. 最初と最後の頁 288-298
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大谷由香	4. 巻 66巻3号
2. 論文標題 The Controversy Over the Nanshan Vinaya School in the Southern Song and Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 188-194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上杉智英	4. 巻 第66巻第2号
2. 論文標題 大正蔵本『後思溪録』の祖本とその問題点	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 84 - 89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇都宮啓吾	4. 巻 39
2. 論文標題 中世語彙研究の一視点 聖教研究を通して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国語語彙史の研究	6. 最初と最後の頁 47-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇都宮啓吾	4. 巻 42
2. 論文標題 京都国立博物館松本文三郎文庫所蔵の悉曇資料について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 学叢	6. 最初と最後の頁 37-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇都宮啓吾	4. 巻 146
2. 論文標題 禅林寺点の成立について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 訓点語と訓点資料	6. 最初と最後の頁 12-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇都宮啓吾	4. 巻 51
2. 論文標題 智積院新文庫蔵『醍醐祖師聞書』の記事について一付・翻字本文一	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大阪大谷国文	6. 最初と最後の頁 88-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇都宮啓吾	4. 巻 単行
2. 論文標題 日本の訓読の歴史	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 金文京編『漢字を使った文化はどう広がっていたのか 東アジアの漢字漢文文化圏』東アジア文化講座2 (文学通信)	6. 最初と最後の頁 129-142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇都宮啓吾	4. 巻 単行
2. 論文標題 四天王寺の聖教	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『聖徳太子千四百年御聖忌記念出版 聖徳太子と四天王寺』和宗総本山 四天王寺	6. 最初と最後の頁 97-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇都宮啓吾	4. 巻 単行
2. 論文標題 仁都波迦点の創始と展開 憐昭から皇慶門流へ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『中部日本・日本語学研究論集』	6. 最初と最後の頁 23-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤尾栄慶	4. 巻 1511
2. 論文標題 (解説)法華玄義巻第五 一帖 法華玄義積籤巻第三、第四 二帖	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国華	6. 最初と最後の頁 73-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤尾栄慶	4. 巻 19
2. 論文標題 家の学問と写本にみる打紙加工—ト部家と藤原家の事例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 書物学	6. 最初と最後の頁 19-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤尾栄慶	4. 巻 7
2. 論文標題 国宝『金剛場陀羅尼經』について 藤本論考を承けて	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本古写経研究所研究紀要	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 苔米地誠一	4. 巻 7
2. 論文標題 六巻本『略出念誦法』について	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本古写経研究所研究j 紀要	6. 最初と最後の頁 23-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 苔米地誠一	4. 巻 107
2. 論文標題 真言僧凝然(二) 諸宗兼学と真言宗	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 大正大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 1 - 21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野呂靖	4. 巻 60
2. 論文標題 『華嚴経』を实践する明恵 「明恵上人紀州八所遺跡」における喜海の明恵像	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 世界仏教文化研究論叢	6. 最初と最後の頁 48-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野呂靖	4. 巻 70(2)
2. 論文標題 盛誉『夢中戯』にみる南北朝期の華嚴学	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 682-689
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡野元春, 村本俊哉, 村川猛彦	4. 巻 Vol.2021, No.1
2. 論文標題 花押を対象とした画像比較システムの構築	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 情報処理学会 人文科学とコンピュータシンポジウム論文集	6. 最初と最後の頁 212-217
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西谷功	4. 巻 55
2. 論文標題 鎌倉期戒律復興の実像－泉涌寺僧が果たした役割	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 説話文学研究	6. 最初と最後の頁 32-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西谷功	4. 巻 単行
2. 論文標題 五百羅漢図から読み解く僧の出家生活	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ブッダのお弟子さん	6. 最初と最後の頁 160-167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西谷功	4. 巻 単行
2. 論文標題 羅漢会を読む－供養と儀礼－	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ブッダのお弟子さん	6. 最初と最後の頁 150-152
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西谷功	4. 巻 単行
2. 論文標題 祖師像と宋代仏教儀礼 礼讃文儀礼を視座として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アジア仏教美術論集 東アジアIV (南宋・大理・金)	6. 最初と最後の頁 411-450
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西谷功	4. 巻 単行
2. 論文標題 唐宋代における仏牙舍利の 発見 一道宣伝持の仏牙を中心にー	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アジア仏教美術論集 東アジアIII (五代・北宋・遼・西夏)	6. 最初と最後の頁 185-222
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西谷功	4. 巻 単行
2. 論文標題 唐招提寺蔵『南山北義見聞私記』をめぐる諸問題ー附・翻刻ー	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 凝然教学の形成と展開	6. 最初と最後の頁 371-460
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西谷功	4. 巻 4
2. 論文標題 13・14世紀東アジア海域を結ぶ普陀山観音信仰とその図像 新安沈船・金銅製菩薩坐像に関する一試論	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 アジア陶磁文化研究	6. 最初と最後の頁 86-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 西谷功	4. 巻 単行
2. 論文標題 承久の乱前後における宋文化のひろがりと京洛東山－俊ジョウの宗教活動に着目して－	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 京都文化博物館編『よみがえる承久の乱』	6. 最初と最後の頁 172-180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西谷功	4. 巻 単行
2. 論文標題 章駄天説話の源流と変容－唐宋代の諸伝承と律学受講の場を視点に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 高橋悠介編『宗教儀礼としての能楽』	6. 最初と最後の頁 82-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西谷功	4. 巻 単行
2. 論文標題 北条時頼の臨終儀礼再考－俊ジョウ・泉涌寺僧請来の宋代仏教儀礼・作法の視点から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 近本謙介編『ことば・ほとけ・図像の交響 法会・儀礼とアーカイヴ』 勉誠出版	6. 最初と最後の頁 211-239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大谷由香	4. 巻 70(2)
2. 論文標題 伝香寺所蔵新出文献 元照撰『撰戒種類図』翻刻と解説	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 722-728
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 別所弘淳	4. 巻 69
2. 論文標題 大釈同異論再考	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 智山学報	6. 最初と最後の頁 411-428
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 別所弘淳	4. 巻 30
2. 論文標題 地鎮々壇法の一考察 野沢の比較を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 現代密教	6. 最初と最後の頁 99-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 別所弘淳	4. 巻 5
2. 論文標題 了賢撰『他師破決集』訳注(三) 巻第一ノ三	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 川崎大師教学研究所紀要	6. 最初と最後の頁 85-110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 別所弘淳	4. 巻 6
2. 論文標題 了賢撰『他師破決集』訳注(四) 巻第一ノ四	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 川崎大師教学研究所紀要	6. 最初と最後の頁 33-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 別所弘淳	4. 巻 7
2. 論文標題 了賢撰『他師破決集』訳注(五) 巻第一ノ五	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 川崎大師教学研究所紀要	6. 最初と最後の頁 15 p 配布
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 別所弘淳	4. 巻 2
2. 論文標題 三種即身成仏について 頼瑜の教説を中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 真言教学	6. 最初と最後の頁 18-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇都宮啓吾	4. 巻 41
2. 論文標題 京都国立博物館蔵『大般涅槃経疏』紙背の説草資料について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 学叢	6. 最初と最後の頁 53-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇都宮啓吾	4. 巻 25
2. 論文標題 園城寺(法明院)蔵行弁手沢聖教について 訓点資料を主として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大津市歴史博物館研究紀要	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇都宮啓吾	4. 巻 50
2. 論文標題 那古寺蔵「繡字法華経」について 書芸文化の一形態とその伝来を巡って	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大阪大谷国文	6. 最初と最後の頁 108-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野呂靖	4. 巻 単行
2. 論文標題 明恵の成仏義解釈とその周辺 義天版章疏の影響関係を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東アジア仏教思想史の構築 凝然・明恵と華嚴思想 (龍谷大学世界仏教文化研究センター主催・日中韓国際シンポジウム プロシーディングス)	6. 最初と最後の頁 157-175
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 野呂靖	4. 巻 68 (2)
2. 論文標題 義林房喜海の成仏義 高山寺蔵『三生成道料簡』を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 693-699
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西谷功	4. 巻 85
2. 論文標題 洛中洛外図屏風に描かれた戒光寺	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信	6. 最初と最後の頁 20-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西谷功	4. 巻 単行
2. 論文標題 南宋仏教からみた鎌倉期戒律復興運動の諸相 「如法」の僧院生活と儀礼実践の視点から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 覚盛上人御忌記念 唐招提寺の伝統と戒律	6. 最初と最後の頁 137-172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西谷功	4. 巻 100
2. 論文標題 鎌倉期東山における宋式寺院という「場」－泉涌寺の宋文化受容の視点から－	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地方史研究	6. 最初と最後の頁 11-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西谷功	4. 巻 単行
2. 論文標題 明恵撰『涅槃講式』成立の背景－俊ジョウ請来の宋代涅槃儀礼の視点から－	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東アジア仏教思想史の構築－凝然・明恵と華嚴思想－予稿集	6. 最初と最後の頁 194-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大谷由香	4. 巻 838
2. 論文標題 書評と紹介 松尾剛次著『中世叡尊教団の全国的展開』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本歴史	6. 最初と最後の頁 94-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大谷由香	4. 巻 単行
2. 論文標題 唐招提寺蔵『布薩規要記』	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 覚盛上人御忌記念 唐招提寺の伝統と戒律	6. 最初と最後の頁 391-462
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大谷由香	4. 巻 単行
2. 論文標題 南山三観と日本律宗	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 覚盛上人御忌記念 唐招提寺の伝統と戒律	6. 最初と最後の頁 27-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大谷由香	4. 巻 84
2. 論文標題 日本仏教における戒律の特異性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本佛教学會年報	6. 最初と最後の頁 76-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村川猛彦	4. 巻 Vol.2019, No.1
2. 論文標題 系図処理プログラムの改良 さらなる自動化を目指して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 情報処理学会 人文科学とコンピュータシンポジウム論文集	6. 最初と最後の頁 19-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 別所弘淳	4. 巻 69
2. 論文標題 大釈同異論再考	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 智山学報	6. 最初と最後の頁 411-428
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 別所弘淳	4. 巻 30
2. 論文標題 地鎮々壇法の一考察 野沢の比較を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 現代密教	6. 最初と最後の頁 99-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇都宮啓吾	4. 巻 23
2. 論文標題 法明院 (甲本) 『二十五三昧式』 について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 大津市歴史 博物館研究紀要	6. 最初と最後の頁 25-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇都宮啓吾	4. 巻 無
2. 論文標題 訓点資料研究の一側面 東大寺関係資料を手懸かりとして	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 宋原永遠男・佐藤信・吉川真司編『東大寺の思想と文化』(法蔵館)	6. 最初と最後の頁 601-625
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇都宮啓吾	4. 巻 無
2. 論文標題 『職原抄』訓点本の資料性について 龍谷大学本を手懸かりとして	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 藤田保幸編『言語文化の中世』（和泉書院）	6. 最初と最後の頁 3-20
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇都宮啓吾	4. 巻 無
2. 論文標題 『秋萩帖』の書写者と編者について 円堂点成立の背景に及ぶ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 今野慎二編『秋萩帖の総合的研究』（勉誠出版）	6. 最初と最後の頁 107-132
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真吾	4. 巻 139
2. 論文標題 訓点特有語と漢字仮名交じり文 延慶本平家物語の仮名書き訓点語をめぐる一	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 訓点語と訓点資料	6. 最初と最後の頁 1-27
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真吾	4. 巻 無
2. 論文標題 東寺蔵『願文集』所収願文の文体について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 歴史言語学の射程	6. 最初と最後の頁 119-132
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋秀城	4. 巻 87
2. 論文標題 真言僧の和歌	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 智山ジャーナル	6. 最初と最後の頁 15-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大谷由香	4. 巻 492
2. 論文標題 太賢『梵網經古迹記』の日本における活用について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 龍谷大学論集	6. 最初と最後の頁 1-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小宮俊海	4. 巻 68
2. 論文標題 明恵と食物-霊供作法を基調として-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 智山学報	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 『真俗雑記問答鈔』訳注研究会 (小宮俊海)	4. 巻 41
2. 論文標題 頼瑜撰『真俗雑記問答鈔』訳注 (六) 巻第四ノ一	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 大正大学総合佛教研究所年報	6. 最初と最後の頁 1-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 別所弘淳	4. 巻 3
2. 論文標題 了賢撰『他師破決集』訳注(一) 巻第一ノ一	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 川崎大師教学研究所紀要	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 別所弘淳	4. 巻 4
2. 論文標題 了賢撰『他師破決集』訳注(二) 巻第一ノ二	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 川崎大師教学研究所紀要	6. 最初と最後の頁 51-104
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇都宮啓吾	4. 巻 140
2. 論文標題 叡山点の成立について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 訓点語と訓点資料	6. 最初と最後の頁 38-49
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇都宮啓吾	4. 巻 211
2. 論文標題 延慶本『平家物語』周辺の書承ネットワーク - 智積院聖教を手懸かりとして	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『根来寺と延慶本『平家物語』』(アジア遊学)	6. 最初と最後の頁 49-68
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中勝, 村川猛彦, 宇都宮啓吾	4. 巻 Vol.59, No.2
2. 論文標題 訓点資料を対象とした翻刻支援システムの構築	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 情報処理学会論文誌	6. 最初と最後の頁 288-298
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村川猛彦	4. 巻 Vol.2018-CH-117, No.7
2. 論文標題 系図処理プログラムの開発および公開	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 情報処理学会研究報告 人文科学とコンピュータ(CH)	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上杉智英	4. 巻 第66巻第2号
2. 論文標題 大正蔵本『後思溪録』の祖本とその問題点	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 84-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 羽田聡	4. 巻 84号
2. 論文標題 京都国立博物館所蔵 伏見天皇宸翰消息	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 古文書研究	6. 最初と最後の頁 149-151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村川猛彦	4. 巻 27(2)
2. 論文標題 全文検索サービス自動生成の試み	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 情報知識学会誌	6. 最初と最後の頁 219-224
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2964/jsik_2017_027	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大谷由香	4. 巻 66巻3号
2. 論文標題 The Controversy Over the Nanshan Vinaya School in the Southern Song and Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 188-194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大谷由香	4. 巻 67
2. 論文標題 日宋交流と鎌倉期律宗義の形成	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 智山学報	6. 最初と最後の頁 177-197
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大谷由香	4. 巻 838
2. 論文標題 書評と紹介 松尾剛次著『中世叡尊教団の全国的展開』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本歴史	6. 最初と最後の頁 94-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真吾	4. 巻 139
2. 論文標題 訓点特有語と漢字仮名交じり文 延慶本平家物語の仮名書き訓点語をめぐる一	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 訓点語と訓点資料	6. 最初と最後の頁 1-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 別所 弘淳	4. 巻 第3号
2. 論文標題 了賢撰『他師破決集』訳注(一) 巻第一ノ一	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 川崎大師教学研究所紀要	6. 最初と最後の頁 未刊のため、不明
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野呂靖	4. 巻 6.6巻2号
2. 論文標題 明恵における宋代仏教の受容について	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 印度学仏教学研究	6. 最初と最後の頁 122-128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小宮俊海	4. 巻 67
2. 論文標題 慧友僧護の事績について - 高山寺での活動を中心として -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 智山学報	6. 最初と最後の頁 199頁 ~ 222頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 頼瑜撰『真俗雜記問答鈔』訳注研究会編（小宮俊海共著）	4. 巻 40
2. 論文標題 頼瑜撰『真俗雜記問答鈔』訳注（五）- 卷三ノ二 -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大正大学総合佛教研究所年報	6. 最初と最後の頁 1-72
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計61件（うち招待講演 36件 / うち国際学会 11件）

1. 発表者名 宇都宮啓吾
2. 発表標題 『秋萩帖』の書写者と作者について フコト点展開史上の一問題として
3. 学会等名 第39回表記研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宇都宮啓吾
2. 発表標題 智積院聖教に見える書承ネットワーク
3. 学会等名 第1回日本宗教学文献調査学合同研究集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宇都宮啓吾
2. 発表標題 聖教とデジタルアーカイブス
3. 学会等名 第1回日本宗教学文献調査学合同研究集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 永井謙也, 村川猛彦, 大澤留次郎, 宇都宮啓吾
2. 発表標題 系図からのデータ自動取得の試み
3. 学会等名 人文科学とコンピュータシンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 村川猛彦
2. 発表標題 系図を対象としたデータベースシステムの構築
3. 学会等名 第1回日本宗教文献調査学会合同研究集会(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 苔米地誠一
2. 発表標題 聖教の相伝と大伝法院・根来寺
3. 学会等名 第1回日本宗教文献調査学会合同研究集会(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西谷功
2. 発表標題 知られざる宋代天台の儀礼と文化
3. 学会等名 龍谷大学BARC第6回学術講演会「天台の思想と造形、文化、儀礼」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大谷由香
2. 発表標題 志玉口述『梵網古迹下巻聞書』にみる室町期戒壇院の戒律思想
3. 学会等名 日本印度学仏教学会 第68回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大谷由香
2. 発表標題 太賢『梵網経古迹記』の活用と伝存状況
3. 学会等名 「韓国仏教文研の拡張性とデジタル地形図」(韓国研究支援事業)(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大谷由香
2. 発表標題 日宋交流と鎌倉期律宗義の形成
3. 学会等名 第61回智山教学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大谷由香
2. 発表標題 日本仏教における戒律の特異性
3. 学会等名 日中三大学研究発表会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大谷由香
2. 発表標題 日本仏教における戒律の特異性
3. 学会等名 日本仏教学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大谷由香
2. 発表標題 東大寺戒壇上の塔の改変と日本律宗教学
3. 学会等名 BARC日本仏教の形成と展開「戒律の思想と儀礼文化」（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野呂靖
2. 発表標題 元暁『勝鬘經疏』逸文の基礎的研究
3. 学会等名 国際シンポジウム「21世紀元暁学の意味と展望」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宇都宮啓吾
2. 発表標題 仁都波迦点の創始と展開-憐昭から皇慶門流へ-
3. 学会等名 第八十七回中部日本・日本語学研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 宇都宮啓吾
2. 発表標題 泉涌寺・良含と澄豪・恵鎮の流の周辺－中世聖教における諸宗交流の結節と伸展－
3. 学会等名 「応永享期文化論」研究集会（国際日本文化研究センター）（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 赤尾栄慶
2. 発表標題 料紙を観る 京都国立博物館所蔵の典籍
3. 学会等名 実践女子大学文芸資料研究所主催「紙のレンズから見た古典籍－高精細デジタルマイクロスコプの世界」（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 野呂靖
2. 発表標題 盛誉『夢中戯』にみる南北朝期の華嚴学
3. 学会等名 日本印度学仏教学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 野呂靖
2. 発表標題 明恵上人紀州八所遺跡」における明恵の祖師化とその背景
3. 学会等名 龍谷大学仏教学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野呂靖
2. 発表標題 鎌倉期における律をめぐる宗教的環境 明恵周辺の事例を中心に
3. 学会等名 説話文学会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野呂靖
2. 発表標題 義林房喜海の成仏義 高山寺蔵『三生成道料簡』を中心に
3. 学会等名 日本印度学仏教学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大谷由香
2. 発表標題 新出文献 伝香寺所蔵 元照撰『撰戒種類図』について
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第72回学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 宇都宮啓吾
2. 発表標題 聖教調査における書誌情報の採取とデータ化について
3. 学会等名 第3回日本宗教文献調査学合同研究集会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野呂靖
2. 発表標題 明恵の成仏義解釈とその周辺 義天版章疏の影響関係を中心に
3. 学会等名 龍谷大学世界仏教文化研究センター主催・日中韓国際シンポジウム（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野呂靖
2. 発表標題 14世紀の東大寺華嚴 盛誉『華嚴手鏡』の形成とその周辺
3. 学会等名 東アジア仏教研究会年次大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西谷功
2. 発表標題 明恵撰『涅槃講式』成立の背景－俊ジョウ請来の宋代涅槃儀礼の視点から－
3. 学会等名 日中韓国際シンポジウム「東アジア仏教思想史の構築－凝然・明恵と華嚴思想」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西谷功
2. 発表標題 宋式仏堂空間の荘嚴－泉涌寺を事例に
3. 学会等名 室町水墨画における中国道釈画の受容
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西谷功
2. 発表標題 鎌倉期戒律復興の実像 泉涌寺僧が果たした役割
3. 学会等名 説話文学会2019年度大会シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西谷功
2. 発表標題 涅槃会の変遷と涅槃図 東アジア仏教社会における「忌日」を視点到
3. 学会等名 「見えるもの」や「見えないもの」に関わる東アジアの文物や芸術についての学際的な研究（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宇都宮啓吾
2. 発表標題 「三十帖冊子」と宇多法皇周辺 訓点資料研究の視点から
3. 学会等名 第2回日本宗教学文献調査学合同研究集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本真吾
2. 発表標題 Ganmon Liturgies in Premodern East Asia ; keynote lecture
3. 学会等名 Workshop（コロンビア大学）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 赤尾栄慶
2. 発表標題 装訂や料紙から見た「三十帖冊子」
3. 学会等名 第2回日本宗教文献調査学合同研究集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 苔米地誠一
2. 発表標題 論義の歴史と真言宗
3. 学会等名 日本仏教と論義（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野呂靖
2. 発表標題 東大寺における浄土往生をめぐる論義とその展開
3. 学会等名 中国人民大学・民族大学・龍谷大学合同シンポジウム「東アジア仏教研究の現状と展望」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高橋秀城
2. 発表標題 千字文説草の經典受容
3. 学会等名 仏教文学会 平成30年度12月例会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大谷由香
2. 発表標題 東大寺戒壇上の塔の改変と日本律宗教学
3. 学会等名 BARC日本仏教の形成と展開「戒律の思想と儀礼文化」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大谷由香
2. 発表標題 日本仏教における戒律の特異性
3. 学会等名 日中三大学研究発表会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大谷由香
2. 発表標題 日本仏教における戒律の特異性
3. 学会等名 日本仏教学会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小宮俊海
2. 発表標題 真言事相における明恵説受容の一形態 伝明恵「靈供作法」成立に関する一試論
3. 学会等名 第62回智山教学大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小宮俊海
2. 発表標題 真言事相における伝明恵口決について 特に靈供作法と明恵説話との関わりを中心に
3. 学会等名 平成30年度総合仏教研究所公開講座（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 別所弘淳
2. 発表標題 東密の論義 - 主に新義の論義を中心に
3. 学会等名 龍谷大学アジア仏教文化研究センター グループ1ユニットA 第1回国際シンポジウム 研究発表会 日本仏教と論義（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宇都宮啓吾
2. 発表標題 『秋萩帖』の書写者と作者について ヲコト点展開史上の一問題として
3. 学会等名 第39回表記研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宇都宮啓吾
2. 発表標題 智積院聖教に見える書承ネットワーク
3. 学会等名 第1回日本宗教文献調査学会合同研究集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宇都宮啓吾
2. 発表標題 聖教とデジタルアーカイブス
3. 学会等名 第1回日本宗教文献調査学合同研究集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 永井謙也, 村川猛彦, 大澤留次郎, 宇都宮啓吾
2. 発表標題 系図からのデータ自動取得の試み
3. 学会等名 人文科学とコンピュータシンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 村川猛彦
2. 発表標題 系図を対象としたデータベースシステムの構築
3. 学会等名 第1回日本宗教文献調査学合同研究集会(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 上杉智英
2. 発表標題 大正蔵本『安吉州思溪法宝資福禅寺大蔵経目録』の底本とその問題点
3. 学会等名 日本印度学仏教学会 第68回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 苔米地誠一
2. 発表標題 聖教の相伝と大伝法院・根来寺
3. 学会等名 第1回日本宗教文献調査学会合同研究集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西谷功
2. 発表標題 知られざる宋代天台の儀礼と文化
3. 学会等名 龍谷大学BARC第6回学術講演会「天台の思想と造形、文化、儀礼」（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大谷由香
2. 発表標題 日宋交流と鎌倉期律宗義の形成
3. 学会等名 第61回智山教学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大谷由香
2. 発表標題 中世後期の「浄土真宗」と清浄華院
3. 学会等名 向阿忌記念講演（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大谷由香
2. 発表標題 南宋代の南山宗義論争と日本
3. 学会等名 日本印度学仏教学会 第68回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大谷由香
2. 発表標題 南山宗の三觀について
3. 学会等名 東アジア仏教研究会年次大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大谷由香
2. 発表標題 太賢『梵網經古迹記』の活用と伝存状況
3. 学会等名 「韓国仏教文研の拡張性とデジタル地形図」(韓国研究支援事業)(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大谷由香
2. 発表標題 志玉口述『梵網古迹下巻聞書』にみる室町期戒壇院の戒律思想
3. 学会等名 日本印度学仏教学会 第68回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 野呂靖
2. 発表標題 華嚴僧は往生できるか 尊玄とその周辺
3. 学会等名 宝法義林第2回国際シンポジウム(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 野呂靖
2. 発表標題 元暁『勝鬘經疏』逸文の基礎的研究
3. 学会等名 国際シンポジウム「21世紀元暁学の意味と展望」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 野呂靖
2. 発表標題 明恵の 夢 と華嚴思想
3. 学会等名 人類知のポリリズム 華嚴思想の可能性
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 野呂靖
2. 発表標題 明恵における宋代仏教の受容について
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第68回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小宮俊海
2. 発表標題 慧友僧護の事績について - 高山寺での活動を中心として -
3. 学会等名 第61回智山教学大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 赤尾栄慶
2. 発表標題 料紙を観る 京都国立博物館 所蔵の典籍、実践女子大学文芸資料研究所 主催「紙のレンズから見た古典籍—高精細デジタルマイクロスコープの世界」
3. 学会等名 実践女子大学文芸資料研究所
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計9件

1. 著者名 宇都宮啓吾（監修・著）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 四天王寺勸学部	5. 総ページ数 18
3. 書名 『四天王寺聖教の世界』（四天王寺宝物館令和3年秋季特別展 図録）	

1. 著者名 東国大学校・天津市歴史博物館編（宇都宮啓吾共著）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東国大学校	5. 総ページ数 196
3. 書名 西教寺所蔵 円測撰 無量義經疏	

1. 著者名 藤田保幸・宇都宮啓吾・三宅えり・余田弘実	4. 発行年 2017年
2. 出版社 思文閣出版	5. 総ページ数 330
3. 書名 『中世国語資料集』（龍谷大学善本叢書33）	

1. 著者名 西谷功	4. 発行年 2018年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 840
3. 書名 南宋・鎌倉仏教文化史論	

1. 著者名 高山寺典籍文書綜合調査団（山本真吾共著）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 汲古書院	5. 総ページ数 536
3. 書名 高山寺経蔵の形成と伝承	

1. 著者名 楠淳澄・中西直樹・嵩満也・野呂靖他	4. 発行年 2020年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 272
3. 書名 国際社会と日本仏教	

1. 著者名 楠淳證・船田淳一編（野呂靖共著）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 法蔵館	5. 総ページ数 407
3. 書名 蔵俊撰『仏性論文集』の研究	

1. 著者名 村上明也・吉田慈順編（野呂靖・大谷由香 共著）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 法蔵館	5. 総ページ数 346
3. 書名 源信撰『阿弥陀経略記』の訳注研究	

1. 著者名 石塚晴通・赤尾栄慶編著	4. 発行年 2018年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 64
3. 書名 国宝小川本真草 千字文	

〔産業財産権〕

〔その他〕

顯雅房 - 宇都宮研究室 on Web - http://www.orcaland.gr.jp/~utsunomiya/ 顯雅房 http://www.orcaland.gr.jp/~utsunomiya/
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	苔米地 誠一 (Tomabechi Seiichi) (00340456)	大正大学・仏教学部・教授 (32635)	
研究分担者	羽田 聡 (Hada Satoshi) (30342968)	独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館・学芸部美術室・室長 (84301)	
研究分担者	山本 真吾 (Yamamoto Shingo) (70210531)	東京女子大学・現代教養学部・教授 (32652)	
研究分担者	野呂 靖 (Noro Sei) (70619220)	龍谷大学・文学部・准教授 (34316)	
研究分担者	村川 猛彦(田中猛彦) (Murakawa Takehiko) (90304154)	和歌山大学・システム工学部・准教授 (14701)	
研究分担者	山本 秀人 (Yamamoto Hideto) (30200835)	高知大学・教育研究部人文社会科学系人文社会科学部門・教授 (16401)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	赤尾 栄慶 (Akao Eikei) (20175764)	国際仏教学大学院大学・日本古写経研究所・研究員 (32697)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	大谷 由香 (OHTANI YUKA) (50727881)	龍谷大学・文学部・准教授 (34316)	
研究協力者	西谷 功 (NISHITANI ISAO) (80773928)	花園大学・文学部・准教授 (34313)	
研究協力者	上杉 智英 (UESUGI TOMOHUSA)	京都国立博物館・学芸部美術室・研究員	
研究協力者	高橋 秀城 (TAKAHASHI SYUZYU) (20459259)	大正大学・表現学部・専任講師 (32635)	
研究協力者	小宮 俊海 (KOMIYA SYUNKAI)	大正大学・総合仏教研究所・研究員 (32635)	
研究協力者	別所 弘淳 (BESSYO KOUJUN)		
研究協力者	寺島 典人 (Terashima Norihito)	大津市歴史博物館・学芸員	
研究協力者	鯨井 清隆 (Kujirai Kiyotaka)	大津市歴史博物館・学芸員	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------